

令和5年8月31日  
特定非営利活動法人リフ超学校  
代表理事 佐々木将太

## 燃え尽き症候群予防ケアの体制について

特定非営利活動法人リフ超学校では、「地域で生きる人材を育成する」「正直者がバカを見ない地域社会を実現する」というミッションのもと特定非営利活動を営んでいます。

それぞれの活動内容は地域や他者への貢献度が高く打ち込みやすい反面、その結果や波及が数値的または短期的に表れにくい特性ももっており、活動に関わる各人のモチベーション、コンディション、ライフスタイルへの配慮もまた法人としての取り組みと考えています。

特にこの特性上、活動者の「燃え尽き症候群」のリスクも無視できない脅威であるため、この症例を組織ぐるみで予防するための体制を設計したいと考えています。

対象者：リフ超学校のすべての役員、会員、職員、ボランティア、各プロジェクトメンバー、  
協働団体メンバー

支援内容：①団体全体の活動内容と役割分担の把握と配慮

②「燃え尽き症候群」予備軍該当者へのヒアリング、傾聴と活動調整

③必要に応じて、医療機関等他の専門機関への橋渡し

支援担当：第一窓口 佐々木将太（代表理事）

第二窓口 相澤美保（理事）